



大阪市立総合医療センター

Osaka City General Hospital

## 施設背景・特徴、診療状況など

- 平成5年開院。高度救急救命センターを有し、がん・心疾患・脳血管疾患の三大疾患を中心とした高度専門医療に対応している。また、ハイリスクの周産期医療から小児医療分野における高度医療、並びに感染症医療にも対応している。
- 平成17年 地域がん診療連携拠点病院指定
- 平成22年 緩和ケア病棟開設
- 平成25年 小児がん拠点病院
- 平成30年 AYA病棟開設（27床）がんゲノム医療

院内がん総登録数：2424人（2017年1～12月）

このうちAYA世代がん患者数：113人（15～39歳）

# AYA支援チームの成り立ちとチーム構成職種

- AYAサポートチームは、病気による身体的な苦痛の緩和に留まらず、子どもから大人への過渡期にある発達段階にあるAYA世代の特有の心理社会的ニーズを理解し、患者さんのQOLを支える。
- 診断時からの介入・闘病生活を通してニーズに応じた支援を行う
- 外来～病棟～地域 円滑な連携 つなぐ役割
- 構成メンバー  
AYA緩和ケアチーム  
リエゾンチーム  
MSW・HPS・栄養士

# 主な活動

## AYAサポートチーム

- 緩和ケアチームによる病棟ラウンド  
(患者の診療・患者捕捉・病棟カンファレンスへの参加)
- 心理社会的支援  
(診断時の同席・看護面談・MSWによる就学・就労支援等)
- AYA世代専用病棟との連携  
(2回/月のカンファレンス開催/ AYAの会の定期開催)
- 苦痛のスクリーニングの活用 (AYA版運用に向けて準備中)

## AYAサポートチームの啓発

- パンフレット作成 (2018年配布開始)
- 緩和ケアリンクナース会などでの啓発

